

# 研究実施のお知らせ

2025 年 7 月 11 日 ver.1.0

## 研究課題名

学校運動器検診の事後措置における理学療法士による保健指導の実態調査

## 研究の対象となる方

2014 年 4 月から 2025 年 6 月の間に島根大学医学部附属病院整形外科医師による学校運動器検診を受けられた中学生の方。

## 研究の目的・意義

われわれが平成 17 年から実施した調査によって中学生にはスポーツによるケガ（スポーツ障害）の生徒が多いことが判明しました。また平成 28 年から学校健診における運動器検査、いわゆる学校運動器検診が開始され、スポーツによる肘や膝、腰といった関節や骨の障害にも健診の対象が拡大されました。これを受けて理学療法士をスクールトレーナーとして派遣し、学校でのスポーツ障害への対応に活用する取り組みが始まっています。この研究では、学校運動器検診で柔軟性や姿勢の改善が必要と判断され、理学療法士から保健指導を受けた生徒を対象として、指導の内容や指導を受けた生徒の特長を調査することで、スクールトレーナーによる指導の効果を高めることに繋がると期待されます。

## 研究の方法

学校運動器検診で理学療法士から指導を受けた生徒について、検診記録から

- 1) 年齢（学年）
- 2) 性別
- 3) 保健指導を要した理由、疾患名
- 4) 所属部活動
- 5) 保健指導の項目（ストレッチング、筋力トレーニングなど）
- 6) 保健指導が単回のみか、継続した指導を要したか

を調査します。

研究で用いる情報は学校名および氏名を削除したうえで取り扱うため個人が特定させる心配はありません。

## 研究の期間

2025年8月18日～2027年3月

## 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

## 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部整形外科学講座 門脇俊

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年3月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部整形外科学講座／附属病院整形外科 門脇俊

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2242 FAX 0853-20-2236